特定非営利活動法人草加市カヌー協会

草加パドラーズ

[会報第 335 号] 令和 3 年 3 月 18 日発行

□草加パドラーズ事務局 住所 草加市松江 2-4-16 □電話 048-931-3844

水質浄化問題

透視度 52cm から 1m へ

綾瀬川水質検査

2021.1～12 草加パドラーズ

NO	月 日	時間	天気	気温	水温	透視度	COD	PH	備 考
1	1月7日	8:00	晴れ	3	6	63	4	6.5	中上
2	1月14日	8:00	晴れ	2.8	5.9	45	6	6.5	中上
3	1月28日	8:00	晴れ	5	7	32	7	6.5	満上
4	2月4日	8:00	晴れ	0.4	7.9	40	6	6.5	中上
5	2月12日	8:00	晴れ	4	7.9	33	6	7	満上
6	2月27日	8:00	晴れ	3.9	9.6	28	6	7	満下
7	3月12日	11:00	晴れ	15.5	13.5	34	7	6.5	中下
8	3月18日	9:00	晴れ	10.3	14.4	52	6	7	満上

少しずつ改善 ！

3 月 18 日(木)午前 9:00 に水質検査を実施しました。気温 10.3 度、水温 14.4 度、**透視度 52cm、COD6.0 mg/ℓ**、PH7.0 の測定値でした。これは、**1 月 7 日の透視度**

63cm、COD 4 mg/ℓに次ぐ良い結果でした。少しずつ水質改善の傾向が伺えると考えられます。**7 年前**に私たちが河川美化活動を始めた当時は、**水の色が灰色**がかり、腐ったような**悪臭が漂っていました**が、現在は、あまり感じなくなりました。今後、さらに**透視度 1mを目指し、努力を続けてまいりましょう。**

3.11 東日本大震災／あれから 10 年

東日本大震災

10年 祈りは続く

「空から叱られないように」

たのか」「あの時、強引市役所へ連れて行けば」何度も自分を責めた。彼がいないなら働いていく

海に向かい、ひざまずいて手を合わせる女性。「震災に終わりはないから。これからもずっと思い続けます」と話した（11日午前5時53分、福島県いわき市で）＝伊藤紘二撮影

▶旧防災対策庁舎の献花台で手を合わせたち。修学旅行で訪れた（11日午前9

「おはよう、10年たったね」と語りかけな

死者・行方不明者 2 万 2,200 人

早いもので、あれから、もう 10 年が経過しました。2 万 2, 200 人の死者・行方不明者を出し、戦後最大の災害となった東日本大震災発生から 10 年となりました。愛する家族や友人を失った人たち、かろうじて生き延びた人や同僚たち、あの時にこうすれば良かった、ああすれば良かったと悔んだり、悩んだりした人も沢山いるのではないでしょうか。一つの例ですが、津波を想定した「防災対策庁舎」「避難指定場所」は安全だからと避難した方たちが津波に飲み込まれてしまいました。又、10mの防潮堤があるから大丈夫・・という過信から逃げ遅れて津波にさらわれた人たち、大変に悲惨であり悲劇でありました。後に専門家や担当者が、この事例に対して「想定外」だったと口をそろえて語りますが、江戸時代や明治期にここまで津波が到達したという石碑や言い伝えがあった事実をいつの間にか軽んじたり、忘れ去られていたことは看過できないことです。災害は忘れたころにやってきます。**歴史から学ぶという謙虚な姿勢と科学的な根拠**を示して行く必要があると考えます。10 年後の今、亡くなられた多くの方たちへ、心からご冥福をお祈りいたします。